

全国障害者スポーツ大会 競技運営等について

1 競技運営

全国障害者スポーツ大会開催基準要綱により、関係競技団体が主管することとなっています。

全国障害者スポーツ大会開催基準要綱(抜粋)

5. 大会開催の基本方針

(4)大会における競技運営は、公益財団法人日本体育協会に加盟する開催地都道府県の関係競技団体及び日障協登録競技団体等が主管する。

【参考:2019年茨城大会の主管団体】

| 区分 | 競技名 | 競技運営主管団体 |
|----|-------------|--------------------|
| 個人 | 陸上競技 | 茨城陸上競技協会 |
| | 水泳 | 茨城県水泳連盟 |
| | アーチェリー | 茨城県アーチェリー協会 |
| | 卓球 | 茨城県卓球連盟 |
| | フライングディスク | 茨城県障がい者フライングディスク協会 |
| | ボウリング | 茨城県ボウリング連盟 |
| | ボッチャ | (未実施) |
| 団体 | バスケットボール | 茨城県バスケットボール協会 |
| | 車いすバスケットボール | |
| | ソフトボール | 茨城県ソフトボール協会 |
| | グランドソフトボール | |
| | フットベースボール | |
| | バレーボール | 茨城県バレーボール協会 |
| | サッカー | 茨城県サッカー協会 |

2 競技役員の編成・養成

(1) 必要人数

先催県(2019年茨城大会)における競技役員・競技補助員数は、以下のとおり。

| 区分 | 競技名 | 競技役員 | 競技補助員 |
|----|-------------|-------|-------|
| 個人 | 陸上競技 | 390 | 450 |
| | 水泳 | 170 | 120 |
| | アーチェリー | 62 | 120 |
| | 卓球 | 183 | 169 |
| | フライングディスク | 138 | 195 |
| | ボウリング | 34 | 30 |
| | ボッチャ | (未実施) | |
| | 小計 | 977 | 1,084 |
| 団体 | バスケットボール | 64 | 75 |
| | 車いすバスケットボール | 71 | 75 |
| | ソフトボール | 58 | 50 |
| | グラウンドソフトボール | 86 | 31 |
| | フットベースボール | 64 | 40 |
| | バレーボール | 93 | 103 |
| | サッカー | 69 | 56 |
| | 小計 | 505 | 430 |
| 合計 | | 1,482 | 1,514 |

- ・「競技役員」: 競技運営、審判、競技記録等の業務を行います。
- ・「競技補助員」: 競技役員の指示を受けて、競技運営の補助を行います。

(2) 養成計画

先催県においては、主管団体が中心になり、概ね3年前から役員養成を実施。

本県においては、競技の普及を進めるため、国体競技役員の養成との調整など、主管団体等と協議の上、前倒しで取り組みます。

【参考: 2019年茨城大会の役員養成計画】

| 区分 | 4年前 | 3年前 | 2年前 | 1年前 | 開催年度 |
|-------|------------------------|-------|---------------------------|---------------|---------------------|
| 競技役員 | 競技役員等 養成基本 方針の策定 | 先催県調査 | 編成計画策定 | 役員編成 | リハーサル大会 → 本大会 |
| 競技補助員 | | | 編成計画策定 協力校調査 協力校へ依頼 | 講習会開催 現地研修 | |